

## 描写に着目して作品を読み解く

### 目標

#### ● 知識及び技能

事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 (1)ウ

#### ● 思考力、判断力、表現力等

場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えることができる。 C(1)イ

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする事ができる。 C(1)オ

#### ● 学びに向かう力、人間性等

言葉が持つ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

### 評価規準

#### ● 知識・技能

**〔知技1〕** 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。

#### ● 思考・判断・表現

**〔思判表1〕** 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。

**〔思判表2〕** 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしてしている。

#### ● 主体的に学習に取り組む態度

**〔主1〕** 進んで人物の心情を描いた表現に注意して読み、学習課題に沿って、作品の印象や考えたことを伝え合おうとしている。

## 指導案の概要

「私たちの未来」は、現代の中学生の感性を映し出す描写表現が多彩に盛り込まれた作品であり、中学1年生の生徒たちにふさわしい新鮮な小説の学びをもたらす。この教材では、描写を手がかりに、自分の経験や感情と結び付けながら小説を主体的に読む力を育てる。第1時では、作品に出てくる「赤いヘアゴム」から身近なものを描写する活動を通して、イメージを言葉で立ち上げる感覚を体験する。第2時では「白い靴」という表現をもとに、登場人物の行動の背景を読み取る。第3時では再び「赤いヘアゴム」に焦点を当て、物語展開による「赤色」の意味の変化を読み解き、主人公が置かれた状況への理解を深める。また、作者のインタビュー動画の視聴を通して本作品のテーマを考える。第4時では、三つの課題から一つを選び、自分の考えを短くまとめ、グループで伝え合う。小説を通じて感じたことを自分の言葉で表現し、他者との対話から読みの視野を広げていくことを目指す。

# 学習の流れ

時	学習活動	学習・指導の具体例	評価規準・評価方法
1	<p>①学習の流れをつかみ、本時の学習目標を確認する。</p> <p>②本文を音読する。</p> <p>③「赤いヘアゴム」の描写に注目し、「小学校のときから使い続けているもの」についてペアで伝え合う。</p> <p>④漢字・語句の確認を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小説を読み深める視点の一つとして、描写に注目して読む方法を学ぶ。本時はまずは本文を読み、描写とは何かを知る。</li> <li>●教師による範読を聞く(朗読CD等を使用するのよい)。その後、一定の音読時間を設けて、各自のペースで作品を音読する。</li> </ul> <p><b>発問例</b> 教科書46ページ下段にあるように、人物や物事の様子・状態をありありと描き出した表現のことを描写といいます。例えば、「<u>前に向き直ったその子の後ろ髪は、赤いヘアゴムで一つにくくられている。</u>」も描写の一つです。ところで、皆さんにも、小学校のときから使い続けているものがあることでしょうか。それを一つ思い浮かべて、隣の人がありありとイメージできるように、言葉で伝えてみましょう。</p> <p>※下線部を板書し、「赤いヘアゴム」を強調するとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●脚注の漢字や語句を中心に、分からない言葉については、辞書等を使って読みや意味を確かめる。</li> </ul> <p>※あらかじめ家庭学習で意味を調べさせておき、主なものを授業で確認するようにしてもよい。</p>	<p><b>知技1</b> (観察・ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●語句の意味や用法について調べ、理解しているかを確認する。</li> </ul>
2	<p>①本時の学習目標を確認する。</p> <p>②「白い靴」の描写に着目し、「その子」の行動の意図を読み取る。</p> <p>③第2場面の挿絵を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前時は「赤いヘアゴム」を例として描写に触れた。本時は「白い靴」に注目して描写への理解をさらに深める。</li> </ul> <p><b>発問例</b> 「その子が一步前に踏み出した。」とありますが、どうしてこのような行動をしたのですか。</p> <p>※「きっとさくらと同じようにこの四月に……その子の白い靴が埋まった。」を板書し、「靴は真っ白」「一步前に踏み出した」「白い靴」の三か所を強調するとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●個別に考える時間を設けたのち、クラス全体で共有する。</li> </ul> <p>※近くの生徒どうして意見交換する時間を挟んでもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●もしこの場面に挿絵を入れるとしたらどんな挿絵にするか、第1場面や第3場面の教科書の挿絵も参考にして考える。</li> </ul> <p>※どんな挿絵にするかを言葉で説明する方法や、描ける人には実際にイラストにってもらう方法がある。</p>	<p><b>思判表1</b> (発言・ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本文をもとに、「その子」の心情を捉えているかを確認する。</li> </ul>
3	<p>①本時の学習目標を確認する。</p> <p>②最後の場面における「赤色」の描写に注目し、さくらの心情と「その子」に対する見方の変化を読み取る。</p> <p>③QRコンテンツ「作者の言葉」(P45)を視聴する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前時は「白い靴」に注目して描写への理解を深めた。本時はもう一度「赤いヘアゴム」に注目して小説全体を捉える。</li> </ul> <p><b>発問例</b> 「赤いヘアゴム」について、最初の場面ではどのように描写されていましたか。また、最後の場面ではどのように描写されていますか。「赤色」の意味が変化したのはどうしてでしょうか。</p> <p>※「そのときさくらは思い出した。……こわばった背中をつぶやいていたことを。」の箇所を板書し、「事前に情報交換をする相手がないことを示す赤色」の部分強調するとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●個別に考える時間を設けたのち、クラス全体で共有する。</li> </ul> <p>※近くの生徒どうして意見交換する時間を挟んでもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●視聴後、動画の印象を確認する。</li> </ul> <p>※特に、「新しい環境で感じる緊張や恐怖心を再現しなかった。」「言葉の選択肢が多ければ多いほど自分の気持ちを相手に伝えることができる。」と述べられている点を押さえたい。</p> <p>※字幕をオンにするとよい。</p>	<p><b>思判表1</b> (発言・ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●各場面でのさくらの心情を踏まえて、その変化や、「その子」に対する見方が変化していることを捉えているかを確認する。</li> </ul>

## 4

① 本時の学習目標を確認する。

② 三つの課題から一つを選び、自分の考えをノートに書く。

③ グループで共有した後、クラス全体に発表する。

④ 学習を振り返る。

● 本教材のまとめとして、次の三つの課題の中から一つ選んで自分の考えを書き、伝え合う。

※前時の最後に予告し、事前に準備をしてきてもらってもよい。

(1) 作者のインタビュー動画を見て印象に残ったことを、自分の経験と結び付けて書きましょう。

(2) 作者が主人公の名前を「さくら」にしたのはどうしてだと思いますか。本文の言葉も使って書きましょう。

(3) もしあなたがこの小説の作者だったら、「目の前のこの子」にどんな名前をつけますか。その名前に込めた意味とともに書きましょう。

● 上記の(1)～(3)の課題から一つ選び、100字程度でノートに書く。  
※生徒の実態に応じて課題の内容を加除修正してもよい。

● 3～4人のグループを構成し、互いに考えを伝え合う。

※生徒の実態に応じてクラス全体の発表を行ってもよい。

**発問例** 自分が選んだ課題を最初に述べてから、ノートに書いたことを伝えましょう。

● 他者の発表から学んだことを自分の言葉でまとめる。

### 思判表 2

(観察・ノート)

● 文章や資料等に基づいて、作品の印象や考えたことを伝え合っているかを確認する。

### 主 1

(観察・発表・ノート)